

※敬称略。プログラム、会場、講演者は都合により変更になることがあります。

会場	9:00~9:45	10:00~10:45	休憩	11:15~12:00	12:10~13:00
1 G402 (収容数120名)	循環管理の基本 関 瀬利 (日本獣医生命科学大学)	RECOVER Guidelines - Up to Date 関 瀬利 (日本獣医生命科学大学)		獣医救急集中治療の最前線 ~生命維持管理装置の実際~ 長久保 大 (東京大学)	
2 G407 (収容数70名)	怒れる動物の診療 ~来院前にできること~ 和田美帆 (千葉どうぶつ総合病院)	怒れる動物の診療 ~診療と入院管理~ 入交真巳 (東京農工大学)、 小田彩子 (CONSCIOUS)		伴侶動物の認知症にどう対処するか? 入交真巳 (東京農工大学医療センター)	
3 G408 (収容数60名)	【臨床研究最前線】 アブレプリストン製剤の特性と 臨床応用 堀 達也 (日本獣医生命科学大学)	【臨床研究最前線】 動物リンパ腫の体系化に向けた取り 組み-組織型分類を臨床に生かす- 二瓶和美 (富士フイルム VET システムズ)		【臨床研究最前線】 獣医療へのLiquid Biopsy実装を 目指して 田川道人 (岡山理科大学)	
4 G409 (収容数168名)	学び直し:検査麻酔モニター 手島健次 (日本大学)	愛玩動物看護師のための 麻酔記録の見方、書き方 佐野忠士 (帯広畜産大学)		愛玩動物看護師だからこそその 術後疼痛評価 佐野忠士 (帯広畜産大学)	
5 G502 (収容数130名)	犬の脳炎を診る・治療する ~MRI/脳脊髄液検査からの鑑別と その治療~ 松本直章 (まつき動物病院)	犬と猫の脳炎 ~よくある免疫介在性脳炎と忘れちゃいけない感染性脳炎~ 笹岡一慶 (北海道大学)			
6 G510 (収容数130名)	問診、視診、触診で診断できる!? 内科系獣医師のための跛行診断法 天野 まど香 (東京大学)	日本獣医腎泌尿器学会認定講習会 24.排尿障害 排尿障害の診断アプローチと内科治療 米澤智洋 (東京大学)		日本獣医腎泌尿器学会認定講習会 9.腎性貧血の病態と治療 山野茂樹 (うえだ動物クリニック)	
7 G602 (収容数130名)	腫瘍の遺伝子検査とリンパ球遺伝子再構成:どこまで信じるか? 辻本 元 (日本動物高度医療センター)、後藤裕子 (東京大学)			フローサイトメトリー解析のすすめ ~血液腫瘍における有用性~ 後藤裕子 (東京大学)、富安博隆 (東京大学)	
8 G610 (収容数130名)	門脈圧亢進症の診断と治療 阪本裕美 (日本大学)	門脈体循環シャントを見つけよう! (超音波検査、CT検査) 小川名 巧 (ER 八王子)		PSSの手術は必要か? (その判断とリスク) 金本英之 (ER 八王子)	
9 G701 (収容数190名)	血小板減少症の考え方 森下 啓太郎 (北海道大学)	好中球減少症の考え方 久末正晴 (麻布大学)		輸血をめぐる問題点(ドナー、 血液型検査、感染症リスク) 井手香織 (東京農工大学)	
10 E2 前 セミナー室 (収容数100名)	犬アトピー性皮膚炎:この10年をupdate 伊從慶太 (Vet Derm Tokyo)			学び直し:掻痒性皮膚疾患に対する 薬剤の使い方と使い分け 村山信雄 (犬と猫の皮膚科)	
11 D1 (収容数140名)	学び直し:消化器の生検方法と病理検査 井手香織 (東京農工大学)、横山 望 (北海道大学)、賀川 由美子 (ノースラボ)			~最近のFIP治療~ 我が国におけるFIPの診断と治療 佐藤雅彦 (どうぶつ総合病院)	株SOPHIA主催 ランチョンセミナー これからの腸活は、人も動物も ポストバイオティクスの時代へ 石田一成 (株) SOPHIA
12 D5 (収容数200名)	学び直し:動画で学ぶ視診 (呼吸音・呼吸様式) 藤原重紀 (日本獣医生命科学大学)	学び直し:上気道X線検査 新坊弦也 (北海道大学)		肺疾患の鑑別(肺炎を中心に) 福島 建次郎 (どうぶつ総合病院)	ReFa 主催 ランチョンセミナー 犬アトピー性皮膚炎に対する 新たなスキンケアの提案 伊從慶太 (FINAL ANSWER)
13 D7 (収容数240名)	pros(賛成意見)/cons(反対意見)で議論する心臓病治療 モデレーター:鈴木亮平 (日本獣医生命科学大学) 合屋 征二郎 (日本大学)、大菅辰幸 (宮崎大学)			10年間をupdate: 犬の慢性房室弁疾患 update 藤井洋子 (麻布大学)	
展示E2	企業展示 開場時間 9:30~15:45				

- 受付・参加登録:ホールE B2F ホールE2前 8:30~17:00
- クローク:ホールE2 展示ホール内入口付近 8:30~18:00
- 試写室:G棟 5F(G507) 8:30~16:30
- 企業展示:ホールE B2F ホールE2 9:40~15:45
- 当日のランチョンセミナー引換券は展示会場内の抽選コーナーまたは各企業の主催する展示ブースで配布します。

2月25日(日)

タイムテーブル / Timetable

※敬称略。プログラム、会場、講演者は都合により変更になることがあります。

会場	13:15~14:00	14:15~15:00	休憩	15:45~16:30	16:45~17:30
1 G402 <small>(収容数120名)</small>	日本獣医皮膚科学会生涯教育セミナー これも皮膚リンパ腫?診断のポイント 今井昭宏 (JASMINE 動物総合医療センター)	日本獣医皮膚科学会生涯教育セミナー 皮膚リンパ腫に対する皮膚科的治療アプローチ 大隅尊史 (動物の専門外来)		 Elanco 細菌データがないときの抗菌薬の選択:皮膚疾患、泌尿器疾患、呼吸器、敗血症 モデレーター: 奥田 優 (山口大学) 大嶋有里 (犬と猫の皮膚科)、小林沙織 (岩手大学) 福島 建次郎 (どうぶつ総合病院)、高橋 雅 (鹿児島大学)	 Elanco
2 G407 <small>(収容数70名)</small>	一次診療でできる! 問題行動へのアドバイス 小澤 真希子 (日本大学)	子犬・子猫の問題行動とその対策 小澤 真希子 (日本大学)		【臨床研究最前線】 犬の粘液腫様変性性僧帽弁疾患における2D心エコーを用いた左心房機能評価 大菅辰幸 (宮崎大学)	 Canon キヤノントナークラウドラボ株式会社 腎泌尿器CT画像診断 腎臓 藤原玲奈 (岩手大学)
3 G408 <small>(収容数60名)</small>	エキゾチック動物(哺乳類)の泌尿器疾患 ~診断と治療~ 中田真琴 (日本エキゾチック動物医療センター)	エキゾチック動物(哺乳類)の循環器疾患 ~診断と治療~ 中田真琴 (日本エキゾチック動物医療センター)		 Boehringer Ingelheim SFTSの感染状況と臨床像:臨床的特徴と検査 松瀬 彩 (国立感染症研究所)	 VCL VETS CLINICAL LABO 猫のヘパドナウイルスを追え! 桃井康行 (東京大学)
4 G409 <small>(収容数168名)</small>	愛玩動物看護師のための“簡単な”循環管理のポイント理解 手島健次 (日本大学)	愛玩動物看護師としてできる“救急対処法” 長久保 大 (東京大学)		心不全の病態~治療・看護のためにどんな病気をかを知る~ 松方 聡 (TRVA 動物医療センター)	心不全症例の看護ポイント~救急の現場ではここを見ている~ 浅野 真里江 (TRVA 動物医療センター)
5 G502 <small>(収容数130名)</small>	内科疾患、それとも問題行動? ~見極めと治療の進め方 入交真巳 (東京農工大学医療センター)	DAMNIT-V/VITAMIN-Dの“A” —神経の奇形性疾患— 長谷川 大輔 (日本獣医生命科学大学)		省略禁止!! 神経疾患の単純X線検査 中田浩平 (岩手大学)	DAMNIT-V/VITAMIN-Dの“V” —神経の血管性疾患— 長谷川 大輔 (日本獣医生命科学大学)
6 G510 <small>(収容数130名)</small>	日本獣医画像診断学会認定講習会 超音波検査法1-1 茅沼秀樹 (麻布大学)	日本獣医画像診断学会認定講習会 超音波検査法1-2 茅沼秀樹 (麻布大学)		膵臓腫瘍(インスリノーマ,ガストリノーマ,膵臓腺癌)を見つけよう!~(超音波,CT検査) 阪本恵美 (東京大学)	副腎が腫れています! さあどうしよう? 米澤智洋 (東京大学)
7 G602 <small>(収容数130名)</small>	血液凝固検査 高橋 雅 (鹿児島大学)	抗血栓薬の使い方 ~正しい理解とちよつとしたコツ~ 大参重紀 (東京大学 / ビジョン動物愛護病院)		免疫介在性血液疾患での免疫抑制薬の使い方 森下 啓太郎 (北海道大学)	抗真菌薬の適応疾患と使い方 大村美紀 (帝京大学)
8 G610 <small>(収容数130名)</small>	犬と猫の違い:腸疾患 中島 亘 (日本小動物医療センター附属小動物消化器センター)	猫の嘔吐:最近気になるこんな病気 大野耕一 (動物医療センター Peco)		療法食とは何なのか?-基礎と実践- 徳本一義 (有限会社ハーモニー)	肝腎なタンパク制限食の使い方・考え方 阪本裕美 (日本大学)
9 G701 <small>(収容数190名)</small>	猫のリンパ腫2024 ~この10年で何が変わったか?トップ10~ 小林哲也 (日本小動物がんセンター)			腫瘍の病理組織診断 ~この10年で何が変わったか?~ 賀川 由美子 (ノースラボ)	
10 E2 前 セミナー室 <small>(収容数100名)</small>	実践!消化器の細胞診 石崎禎太 (ノースラボ)	細胞診検査のエマージェンシー ~胸水・腹水の検査と細胞診の応用~ 島田優一 (富士フィルム VET システムズ)		 どうぶつ検査センター Animal Medical Technology 外注検査の10年をUPDATE!! ~知らなきゃ損、あんなことやそんなこと~ 湯木正史 (湯木どうぶつ病院)	 どうぶつ検査センター Animal Medical Technology
11 D1 <small>(収容数140名)</small>	ケースカンファレンス「心エコー」 大菅辰幸 (宮崎大学)、鈴木亮平 (日本獣医生命科学大学)			シンポジウム「アレルギー性皮膚疾患の犬の食事ってどうしたらいい?」 モデレーター: 水野拓也 (山口大学) 川野浩志 (東京動物アレルギーセンター)、石田琳瑛 (オアシス動物病院) 島崎 洋太郎 (東京農工大学)	
12 D5 <small>(収容数200名)</small>	みんなで考える! ~愛玩動物看護師の過去・現在・未来~ 佐々木 涼太 (みかん動物病院)、小田民美 (日本獣医生命科学大学) 佐藤淳平 (イオンペットセンター第2支社 VN リーダー)			シンポジウム「国家資格としての愛玩動物看護師の働き方」 座長: 山下 眞理子 (日本動物看護協会) パネリスト: 横田淳子 (日本動物看護協会) 杉井耕太 (ネオベッツVRセンター) 吉柳絃枝 (学校法人中村学園 専門学校ちば愛犬動物フラワー学園)	
13 D7 <small>(収容数240名)</small>	猫伝染性腹膜炎の治療: オーストラリアの臨床試験結果 モデレーター: 遠藤泰之 (鹿児島大学) Dr. Sally Coggins (The University of Sydney)			 ROYAL CANIN シンポジウム「慢性下痢に対する食事療法の実際」 モデレーター: 井手香織 (東京農工大学) 中島 亘 (日本小動物医療センター)、永田矩之 (岐阜大学)	
展示E2	企業展示 開場時間 9:30~15:45				